

課題・背景

- 課題1 加曾利貝塚・千葉氏の一般的な認知度（好意・来訪意向）を高める必要がある。
- 課題2 学校での郷土教育を充実させ、教員の「千葉氏」等への認知度を高める必要がある。
- 課題3 郷土の学習には効果的だとされる博物館への来館者を増やす必要がある。
- 課題4 分かりやすい講座を実施する必要がある。

27年度の取組み

- 方向性1 「千葉氏」「加曾利貝塚」等の魅力の掘り起し・魅力向上
 - ・2月に千葉開府890年記念プロモーションを実施。ポスター・モノレールラッピング等
 - ・かそりーぬ等を活用した加曾利貝塚のPR活動（レッドブルエアレース2015 他）
- 方向性2 学校教育における郷土教育の充実
 - ・マンガ「千葉常胤公ものがたり」の制作
 - ・教員への郷土教育推進に係る研修を2回実施
 - ・郷土教育に係る教員向け指導資料及び児童向けワークシートを作成、配付
- 方向性3 郷土教育の拠点としての博物館の充実及び利用促進
 - ・郷土博物館での特別展の開催や、市内小中学校への出前授業等の実施
 - ・加曾利貝塚博物館での土器ドキ発掘体験、ナイトミュージアム、復原住居見学会の実施
- 方向性4 市民の目にとまる情報発信や講座・イベントの拡充
 - ・中央区ふるさとまつりで、かそりーぬによるPR、千葉氏パネル展、甲冑の試着体験、組紐作りの実施
 - ・中央図書館での展示「千葉市の礎を築いた一族 頼朝に父と呼ばれた男 千葉常胤」の実施
 - ・広報紙「教育だよりちば（100号）」記念として「加曾利貝塚」「千葉氏」の記事を掲載

本市のアイデンティティ醸成につながる郷土教育等の推進

28年度 of 取組内容

○方向性1 「千葉氏」「加曾利貝塚」等の魅力の掘り起し・魅力向上

- ・千葉開府890年記念式典(6月1日)、千葉開府祭(6月4日)の開催
- ・千葉氏サミット(8月21日親子三代夏祭りと同じ日)の開催
- ・千葉開府900年となる2026年を目標年次とする「都市アイデンティティ戦略プラン」を策定
- ・加曾利貝塚特別史跡指定申請に向け、総括報告書及び史跡の保存活用計画書を刊行
- ・千葉氏サミット開催に合わせ、郷土博物館での企画展の開催

○方向性2 学校教育における郷土教育の充実

- ・マンガ「千葉常胤公ものがたり」の学校教育での活用・保護者への啓発
- ・小学校6年生及び中学校1・2年生の社会科における千葉氏の扱いの充実
- ・総合的な学習の時間における郷土教育の単元開発
- ・中学校3年生の道徳において教材「千葉市に生きる」を活用しての授業の実施
- ・校外学習や出前授業での博物館等の活用促進
- ・教員への郷土教育推進に係る研修の実施及び資料の提供

○方向性3 郷土教育の拠点としての博物館の充実及び利用促進

- ・市内小中学校への館内解説・体験学習・出前授業を実施
- ・加曾利貝塚博物館での土器づくりや復原住居等を活用した縄文時代の生活体験を実施

○方向性4 市民の目にとまる情報発信や講座・イベントの拡充

- ・マンガ「千葉常胤公ものがたり」の配布・販売
- ・親子三代夏祭りにおけるPR(関係都市の出店、甲冑武者パレード)
- ・ちば市政だよりなど広報紙での「加曾利貝塚」「千葉氏」の特集記事を掲載
- ・縄文フォーラムの開催、加曾利貝塚の一般向けパンフレットの作成

これまでの主な取り組み

方向性1) 魅力の掘り起し・魅力向上



千葉開府の日記念式典(6/1)
(500人来場)



千葉開府祭 (6/4)
(1,500人来場)



千葉氏サミット開催に合わせた企画展
⇒ 全国に広がった千葉氏 (6/1-9/30)
⇒ 千葉妙見大縁起の世界 (8/9-12/11)



第1回 千葉氏サミット
全国10自治体を招待した
千葉氏サミット (8/21)
(700人来場)

方向性2) 郷土教育の充実

マンガの学校教育での活用・保護者への啓発
小中学校の社会科における千葉氏の扱いの充実
郷土教育の単元開発、道徳教材「千葉市に生きる」の活用
博物館等の活用促進、教員への郷土教育推進

4月以降、
継続実施中

各学校長あて文書や校長研修会等での呼びかけ
各教科主任会等での呼びかけ、指導事例の情報収集
指導案・ワークシートの配付
各種研修の実施、研修会での資料配布



マンガを活用した郷土教育
授業の実施 (6/1大椎小)



千葉市

マンガ「千葉常胤公ものがたり」
配布(4月)及び販売(6月開始)
(9/15現在で2,290部の販売)

方向性3) 博物館の充実及び利用促進

郷土博物館

市内小中学校への館内解説・体験学習・出前授業を実施
⇒ 館内解説は29校、1,602人 (9/25現在)
⇒ 体験学習・出前授業は2校、188人 (9/25現在)

加曽利貝塚博物館

⇒ 夏休み小学生土器づくり(7/24・31,8/21 : 計17人)
⇒ 縄文時代の生活体験
(5/3-5:延べ3,443人、夏休み期間中の土日:延べ3,565人)

方向性4) 情報発信や講座 ・イベントの拡充



親子三代夏祭りにおける千葉氏コーナー
全国11都市の出店実施
(当日は365,000人の人出)

29年度以降の方針・スケジュール

アイデンティティの確立

(千葉開府900年となる平成38(2026)年を目標年次とする)

都市アイデンティティ戦略プラン(P20～)

- 博物館の機能強化や展示・講座等の充実
- 学校教育における郷土教育の充実
- 市民が知る・学べる機会の充実
- 職員研修の充実
- 4つの地域資源の認知を広げるイベントの充実
- 4つの地域資源とのつながりを創るカルチャーの充実

第2次千葉市学校教育推進計画(P40)

- 郷土教育の充実
郷土に誇りと愛着が持てるよう、本市の文化や歴史、伝統についての郷土教育の推進と充実を図る

第5次千葉市生涯学習推進計画(P132)

- 加曽利貝塚の国特別史跡指定
- 文化財の保存・活用の推進
- 郷土の理解を深める講座・事業の充実

都市アイデンティティ戦略プラン
平成28(2016)年～平成38(2026)年

第2次千葉市学校教育推進計画
第5次千葉市生涯学習推進計画
平成28(2016)年～平成33(2021)年